観光神社「渚の宮神社」開所式

平成 28 年 4 月 30 日

■　日　付：平成 28 年 4 月 30 日（土）
■　時　間：10：00～12：00
■　場　所：御前崎渚の交番　・テナントブース
■　ＯＳＰ：8 人

渚の交番横のテナントブース中央に観光神社として「渚の宮神社」が開所を迎えました。この神社は観光振興のために設置され、海の安全、健康、環境保全を願う神社として運営されます。

神社内に設置されている御柱は御前崎市下岬地区の駒形神社が伊勢神宮の式年遷宮で使用済みとなった旧柱を再利用した改築の後に、余った柱材を御前崎の海をご覧になりに来た観光客のためにご寄贈いただいたものです。

駒形神社は今から 1400 年前に勧請された航海安全、大漁満足、漁業の繁栄を記念した神社で、御前崎沖の午前岩や、海で遭難した 90 頭の馬の内 1 頭がこの地までたどり着き、残りの 89 頭が岩になったと言われる午前岩などとも信仰上のゆかりがあり、御前崎の海に密接なつながりを持った神社です。渚の宮神社はこうした御前崎の海との信仰深い駒形神社の御支援をいただき設置された、マリンスポーツやマリンレジャーを通じ人々の海の安全を願う観光神社です。

渚の宮神社

神事の様子

また、江戸幕府を築いた徳川家康は、御前崎、久能山東照宮、富士山山頂、日光東照宮を結んだ道を「ふじ（不死）の道」と考え、自らの不死を願いました。この話は「東照宮を巡る三本のライン」の一本目の道として久能山東照宮でも紹介されています。さらに駒形神社は前述の通り、御前崎の海と信仰上の密接なつがなりを持ち、駒形神社本殿前の丸山様は一説にはいにしえの時代、天への灯台として作られたとも言われています。

このように様々な“いわれ”のある御前崎の地に観光神社として「渚の宮神社」が開所を迎えたことは非常に喜ばしく、またある意味、多くの「ご縁」がひとつに結ばれた結果であるようにも感じます。ぜひ、多くの方々にこの神社へご来所いただき、海の安全とみなさんの健康を祈念していただくと共に、素晴らしい海の環境がいつまでも守り続けられるよう願っていただければと思います。